

第八十一回帝國議會
衆議院

商工經濟會法案外二件委員會會議錄(速記)第十回

昭和十八年二月二十七日(土曜日)午後一時
八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 木村 正義君

理事宇田 耕一君 理事卯尾田毅太郎君

理事小高長三郎君 理事松尾 三藏君

理事前田 善治君

今井 嘉幸君

大倉 三郎君 井阪 豐光君

川上 胤三君 加藤鏐五郎君

九鬼 紋七君 川島正次郎君

坂本宗太郎君 小坂 武雄君

森谷 新一君 田中 亮一君

瀧澤 七郎君 吉川 大介君

鶴 惣市君 土屋 寛君

星島 二郎君 本多 鋼治君

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 岸 信介君

出席政府委員左ノ如シ

商工省總務局長 神田 暹君

商工省企業局長 豐田 雅孝君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

商工經濟會法案(政府提出、貴族院送付)

商工組合法案(政府提出、貴族院送付)

商工組合中央金庫法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○木村委員長 是ヨリ開會致シマス、質疑ハ終了致シマシタ、是ヨリ商工經濟會法案、商工組合法案、商工組合中央金庫法中改正

法律案、此ノ三案ヲ一括議題トシテ討論ニ付シマス、討論ハ通告ニ依ツテ之ヲ許シマス——小高長三郎君

○小高委員 私ハ只今上程トナリマシタ商工經濟會法案及ビ商工組合法案竝ニ商工組合中央金庫法中改正法律案、此ノ三案ニ對シ翼贊政治會ヲ代表シ、政府原案ニ贊成ノ意ヲ表スルモノデアリマス、本三案ハ何レモ戰時下國民ノ經濟生活上重大ナル關係ヲ有スル點ニ鑑ミマシテ、委員各位ヨリ熱心ニ質問ガ行ハレ、之ニ對シテ政府當局モ亦極メテ懇切ナル御答辯ガアツタノデアリマス、併シナガラ戰時下經濟政策ノ運營ガ、國民戰力増強ニ及ボス影響ハ極メテ甚大ナルモノデアアルノデアリマス、聊カ私ハ所見ヲ申述ベマシテ、政府ガ本法實施ニ當リ、是非トモ御留意セラレタイ點ヲ明カニシテ置キタイト思フノデアリマス

其ノ第一ハ國民ノ經濟生活ト、盛リ上ル戰場精神ノ關係デアリマス、東條總理大臣ハ本議場及ビ各委員會ニ於キマシテ、國民ノ盛リ上ル力ト、其ノ忠誠心ニ懇ヘ、此ノ戰爭ヲ勝抜ク積リデアアルト強調セラレ、非常ナ感謝ヲ與ヘテ居リマス通リ、全ク全國民ハ現内閣ノ諸政策ニ一言半句ノ不平モ言ハズ、默々トシテ之ニ應ジ、自己ノ全力ヲ擧ゲテ努力シテ居ルノデアリマス、即チ國家ガ最モ強ク要請シ、其ノ指導成果ガ直チニ戰力ニ及ボストマデニ言ハレテ居リマス、

統制經濟ノ現狀ニ鑑ミマシテモ、國民ハ祖先傳來ノ營業ヲ擲チ、時局面ヘ眞裸デ飛込ンデ居ルデアリマセヌカ、農村ノ増産協力ニ於テモ其ノ通り、政府ノ計畫セラレタ重點產物ニ對シテハ、一切ノ家庭事情ヲ振切ツテ、集結シツツアルノデアリマス、此ノ點カラ觀察致シマスル時ニ、最モ重大ナルコトハ國策指導ト、戰時立法ノ運營デアアルコトヲ痛感セザルヲ得ナイノデアリマス、ソレニ私ハ徒ラニ法ヲ以テ、國民ヲ窮屈ニシ、手モ足モ出ナイト云フヤウナ感じニ陥レズ、法ノ持つ溫カイ親心ヲ十分國民生活ニ滲透セシメルコトガ、何ヨリ必要デハナイカト思フノデアリマス、ソレニ付キマシテ過般質屋大藏大臣ガ、酒ノ配給ニ關シ、料理屋ナドヘ酒ヲ配給セズ、之ヲ専ラ重要産業ニ從事スル方面ヘ向ケテハドウカト云フ質問ニ答ヘテ、一時ノ慰安デアアルカラ、偶ニハ料理屋へ行ツテ一杯ヤルノモ惡クハナイデハナイカト云フヤウナ意味ヲ御述ベニナラレマシタコトハ、洵ニ親心ノアル所ヲ示サレタモノトシテ非常ニ結構デアアルト思フノデアリマス、料理屋ト雖モ 陛下ノ赤子トシテ、時局ノ重大性ヲ忘レテ居ル者ハ一人モアリマセヌ、忠誠心ヲ持タナイ筈ハナイデハアリマセヌカ、營業ハサセテ置クガ、物資ハヤラス、ト云フヤウナ運營ハ法ノ精神デハアリマセヌ、此ノ例ニ依リマス、料理屋ヘ酒ヲヤラスヤウニスルニハ、其ノ前ニ

料理屋營業者ノ行クベキ道ヲハツキリ與ヘテヤルコトガ必要デアアリマセヌカ、又料理屋ヘ酒ヲ飲ミニ行ク者ヲ、時局認識ニ乏シイト斷ズルナラバ、其ノ營業自體ヲ放任シテ置クコトガ矛盾デハアリマセヌカ、サウシタ矛盾ヲナクシテ一億一體トナツテ、其ノ職域カラ奉公ノ誠ヲ盡セルヤウニ導キ、且ツ運營スルナラバ國民ノ喜ビトナリ、ソレガ本當ノ盛リ上ル力ヲ喚ビ起ス源泉デアルト信ズルノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ、三法案トモ國民經濟生活ニ缺クベカラザル關係ヲ持つノデアリマス、殊ニ統制經濟ノ強化ト、其ノ運營ノ圓滑化ニ一段階ヲ進メル上ニ、重大ナル使命ガ掛ケラレテ居リマス點ニ鑑ミマシテ、私ハ特ニ本法案運營ニ臨ム政府ノ親心ヲ望マセザルヲ得ナイノデアリマス、而シテ此ノ三案中、最モ重要視サレテ居リマス商工經濟會法案ハ、在來ノ商工會議所ヲ廢止シテ、新ラシク國策經濟ノ協力團體ヲラシメルモノデアリマシテ、勢ヒ官憲支配ノ面ガ強化サレル性質ヲ持つテ居ルノデアリマス、而モ中央統轄機關ノ設置ガ規定サレテ居ラズ、若シ必要ナラバ任意ノ形式デ協議會ノ如キモノヲ組織スレバ宜イトノ御意向ガ政府カラ示サレタノデアリマスガ、ソレデハ國策ノ一元的指示ガ極メテ薄弱トナリ、其ノ結果ガ自然地方的ニ勢力ノ分派ヲ生ズルニ至ルノデハナイカト杞憂セラルルノデアリマス

付託議案
商工經濟會法案(政府提出、貴族院送付)(第七六號)
商工組合法案(政府提出、貴族院送付)(第七七號)
商工組合中央金庫法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第七八號)

申スマデモアリマセスガ、在來ノ統制經濟實行ニ於テ最モ困難ナ問題ヲ提供シテ居ルモノハ、地方事情ノ特異性カラ來ル相剋摩擦ノ様相デアリマシテ、特ニ商組ト産組ノ關係ヲ調整スル爲ニハ相當ノ努力ガ必要デアリマス、此ノ法案ノ大眼目ハ其ノ傾向ヲ飽クマデ排除シ、強力且ツ一元的ニ政府ノ國策ヲ遂行セントスルニアリトスレバ、商工、農林兩省ノ所管ノ統一ガ急務デアラウト考ヘマス、又一面地方事情ニ即應シテ、中央カラノ重壓ヲ避ケ、其ノ運營ノ圓滑化ヲ圖ル點ニ新構想ヲ加ヘラレ、所謂盛り上ル協力精神ニ期待セントスルナラバ、中央機關ノ強力ナル統率力ガ必要デアルト思フノデアリマス、政府ハ將來大東亞共榮圈ノ全域ヲ對象トスル一大中樞機關ヲ設置スルトノ意圖ヲ明カニサレタノデアリマス、御聲明ハ洵ニ結構ナコトデアルト思ヒマスト共ニ、是ガ速力ナル實現ニ關シテ、政府ハ極力御努力セラレンコトヲ熱望スルモノデアリマス

次ニ本法實施ト共ニ、在來ノ商工會議所ガ廢止セラルルノデアリマスガ、其ノ機關ニ携ハラレル人物ガ、再ビ新機構ニ登用セラルル場合モアラウト考ヘマスノデ、其ノ人物ノ銓衡ニ當ツテハ、十分新機關ノ本質ヲ理解シ、積極的ニ其ノ機能ヲ範示スベキ人物デアアルコトヲ確カメ、苟クモ舊機構時代ノ慣習ニ支配サレルヤウナコトノナイヤウニ注意セラレルハ勿論、舊機關カラ新機關ヘ移動スル組織分子ノ理念教育ニモ十分研究ノ要ガアラウト信ズルモノデアリマス、特ニ新舊組織ノ間ニ起リ易イ種々ナ問題ニ對シテモ、同様ノ趣旨カラ萬全ノ措置ガ必要デアリマス、他ノ二案ニ於キマシテハ、

結局商工經濟會法案ト緊密ナル連繫ヲ保チ、産業經濟ノ重要ナル役割ヲ果スモノデアリマシテ、大體ニ於テ以上ノ趣旨ニ包含サルルモノト思ハレマスノデ、改メテ申スマデモアリマセスガ、此ノ兩案ニ對シテモ委員會ノ質疑ヲ尊重セラレ、其ノ運營ニ當ツテ萬遺憾ナキヲ期シテ戴キタイノデアリマス

之ヲ以テ私ハ右三案原案ニ贊成スル者デアリマス

○木村委員長 討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決ヲ致シマス、各案トモ原案ニ贊成ノ諸君ハ起立願ヒマス

〔總員起立〕

○木村委員長 起立總員、各案ハ何レモ原案ノ通り可決致シマシタ(拍手)

散會ニ當ツテ私ヨリ委員長トシテ御挨拶申上ゲタイト思ヒマス、本委員會ハ二月ノ十三日カラ本日マデ十回連日委員各位竝ニ政府當局、熱心ナル質疑應答ガ繰返サレマシテ、而モ圓滿裡ニ本日此ノ委員會ヲ終了致シマスコトハ私ノ本懐トスル所デアリマス、開會中私不慣レノ爲ニ皆サン方ニ御迷惑ヲ掛ケタ點モ多クアツタコトト存ジマシテ、此ノ機會ニ於テ深く御詫ビ申上ゲル次第デアリマス

之ヲ以テ散會致シマス

午後一時二十二分散會